

平安・鎌倉時代の推定鎌倉古道をたどり箱根越えをしてみよう

2012年8月4日(土) うす曇り 約35000歩 約24km

コース：湯本駅→(バス)甘酒茶屋→屏風山→要害山→箱根関所→箱根峠→芦ノ湖高原別荘→推定平安鎌倉古道入口→諏訪神社→元山中関所跡→小沢分岐→(三島大社省略)→三島駅

参加者：大平(L) 吉野 平嶋 常盤 仲 平石一 笹本 河野 山内 青松秀 青松美 熊島 大竹 野村(本日入会) 計14名



本日は前日までの猛射に比べ若干日差しも和らぎ、しのぎやすい日となりました。久しぶりの健脚コースしかもリーダということで、早く寝床に着きましたが、すぐに目がさめ、オリンピックの女子サッカーなど見ているうちに完全に寝そびれ、寝不足のまま、箱根湯本駅にいきました。バスの時間はインターネットで調べてあったのですが、平石さんに8時45分発のバスは甘酒茶屋までしか行かないと言われ。時刻表を確認するとまさにそのとおり、皆さんに平謝りのスタートでした。30分後のバスに乗り、甘酒茶屋に到着。熊島さんの機転で団体割引してもらうことができました。茶屋脇でストレッチしてさあ出発です。この屏風山のコースはこの旧道を少し登ったところに入ります。常盤さんは経験済みとのことでしたが後半の古道は初めてとのこと期待しているとのこと



日差しを遮る木々のなか尾根に向かって登ります



40分ほどの登りでようやく屏風山山頂にたどりつきました。山頂見晴らし全く無し 948M



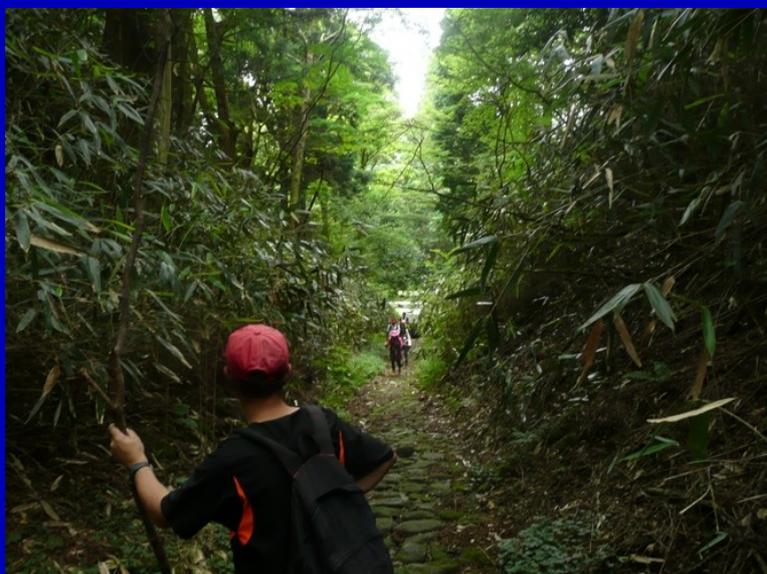
篠竹のトンネル 中は薄暗くなります



屏風山の下りは急勾配の階段が続きます。逆コースはご遠慮申し上げたい 昔の東下りとは苦難な道のりと思われます



箱根町に先行されていた 青松夫妻に感激の再会 1時間近くも待たせてしまいました。すいません



箱根町から箱根峠までは江戸時代の旧道をたどりました。



石畳の道は歩くにはあまり適していません ごつごつしているし、濡れているとすべるし



この日のために前々日 知りあいの別荘に氷とアイスキャンデーを買って冷蔵庫に入れておいたので、到着が遅れご迷惑をかけたが、冷たくおいして箱根の水をたっぷり補給いたしました



芦ノ湖高原別荘地内の目立たないところに箱根古道の入口の看板が立っています



入口からはしばらくは狭い山道でしたが、段々と道は広くなり、傾斜もゆるやか、足にやさしい土の道が続きます



ときおり涼しい風が吹き抜け気持ちよいウォーキングとなりました 真夏は適しているコースでした



道はほぼ一本道ですが 枝分かれ道もあり、この立派な標識が確かなみちしるべになりました

この古道の謂れが書き記されています 足柄道が官道であったが、近道としてまた富士山噴火で足柄道が閉鎖された時はこの道が使われていたとの解説がありました



元山中の近くやっと舗装道にでました。



農家が散在する元山中の村 ここに元山中の関所跡の碑があるので皆さんを連れていく。訪れる人もない碑は農家の庭先にあります。ここで親切にもスイカを食べていけという乾いたのどに大変美味しい物でした。雑談しているうちに家に早く帰りたいという笹本さん 三島まで車で送ってもらえることになり、ここで笹本さんと別れいたしました



古道は三島までまだ道半ば 舗装されているもの人も車もほとんど通らない、歩き易い道が続きます。ここから三島駅までは結構の道のりがあります。あとはゴールして駅近くで、汗で乾いた体にビールを入れることを夢みてひたすら歩きます。



やっとありつけました この一口目がすばらしくおいしかったですね

